

平成 30 年 6 月 25 日

『中古文学』の電子化・公開に伴うお知らせ、及びお願い

中古文学会では平成 30 年度の総会において、機関誌『中古文学』を電子化し、国立研究開発法人・科学技術振興機構が構築した「J-STAGE」（科学技術情報発信・流通総合システム）を通じて公開する方針を決定いたしました。

現在、学術雑誌の世界では「J-STAGE」により電子化・公開の動きが加速しています。国文学関係でも「J-STAGE」で機関誌を公開している学会は、日本文学協会、日本近代文学会、日本近世文学会、中世文学会など年々増加しています。今日のインターネット環境の整備から、電子化・公開された雑誌は国内外で冊子体よりも多くの読者を獲得する可能性があります。電子化・公開されていない学術雑誌は、会員・会員外にとって魅力のない時代がいずれ到来すると思われれます。

そうした状況下で、中古文学会では『中古文学』1号から100号までのバックナンバーの電子化・公開を推進するとともに、最新号についても1年の猶予をもって電子化・公開することにいたしました。つきましては、会員の皆様ならびに『中古文学』既刊号に論文を発表された皆様には、本事業の推進のために、以下の点をご留意ご了承いただきたくお願い申し上げます。

記

1. 『中古文学』への投稿に際しての留意点

今後、『中古文学』に投稿される方は、特にお申し出がない限り、掲載された論文が一年後に電子化・公開されることをご了承のうえ、投稿をお願いいたします。本事業の推進にともない『中古文学』の投稿規定に新たに、

- 11 電子化による公開においては、掲載に関わる論文内の著作権、掲載許可等の権利処理は著者が負うものとします。

の規定が加わることで、5月の総会で承認されました。論文内の図版などを電子化・公開されたい方は、その点もご注意ください。

2. 『中古文学』バックナンバーの論文の電子化・公開について

『中古文学』バックナンバーの論文の電子化・公開については、1-50号までが平成31年春までに、51号-100号については、平成31年秋までに完了する予定になっております。

しかしながら創刊より50年以上の歴史をもつ本誌において、著者あるいは著作権継承者に相当する方を対象に、電子化・公開の許諾を個々に得ることは、現在の学会の事務体制では困難であります。よって既刊号に掲載された論文の電子化・公開を辞退される場合には、平成30年12月31日までに事務局に申告していただくこととし、その期間にお

申し出のなかった論文につきましては、電子化・公開の許諾が得られたものとして扱い、「J-STAGE」への登載を進めることにいたします。

もとより、その期日を過ぎた後でも、著者あるいは著作権継承者から論文の公開を差し止めるご要望があった場合には、本学会はその意思に従い登載を取り下げ、非公開といたします。

電子化・公開を希望されない場合は、論文の題目と掲載号を明記して、下記の事務局の連絡先に郵送・FAX、または電子メールでご連絡ください。

現在、会員外となっている著者あるいは著作権継承者(基調講演者・大会パネリスト・退会者・物故者のご遺族など)につきましても、可能な限り手を尽くして、この通知文を差し上げており、非公開のご要望については同様の対応をとらせていただきます。

なお論文中の図版など掲載許可が必要なものは、恐れ入りますが平成30年12月31日までに執筆者ご自身で再度、電子化・公開の許可をお取りいただき、それにもなう掲載料もご負担いただいた上で、お申し出いただきたく存じます。そうした手続きを経ず、お申し出のなかった図版などは、マスキング(非公開)の処置をさせていただきます。

上記の対応は、他の国文学関係の学会における事例を参照したうえで講じるものであり、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学 文教育学部・松岡智之研究室内
中古文学会事務局
e-mail : matsuoka.tomoyuki@ocha.ac.jp
Fax : 03-5978-5208